

新国立劇場ニュース

報道関係者各位

(全 8 枚送付)

2024 年 7 月 17 日
公益財団法人 新国立劇場運営財団新国立劇場バレエ団『アラジン』無料映像配信決定のお知らせ
～OperaVision にて世界中に新国立劇場バレエ団の公演を発信します～

2024 年 6 月に上演した 2023/2024 シーズンバレエ『アラジン』の公演映像を、2024 年 9 月 20 日(金) 深夜から 6 か月間、OperaVision および新国デジタルシアターにて無料公開することが決定しました。

OperaVision は、EU の文化支援プログラム Creative Europe の支援の下、Opera Europe が監修するヨーロッパ最大級のオペラ映像配信プラットフォームです。新国立劇場は 2022 年 2 月より OperaVision のプロジェクトパートナーとなっています。

『アラジン』は、2008 年にビントレー元芸術監督が新国立劇場のために振り付けた全幕バレエで、初演以来、多くのお客様に愛されてきたプロダクションです。エンターテインメント性と芸術性が見事に調和した本プロダクションは、新国立劇場での初演後、英国バーミンガム・ロイヤルバレエや米国ヒューストン・バレエなどで上演され、ビントレーの代表作として国際的にも高い評価を得ています。振付の妙味に加えて、カール・デイヴィスの親しみやすい音楽、空飛ぶじゅうたんやランプの精の登場シーンなど夢いっぱいの華やかな演出も見どころです。アラビアンナイトの原作では中国が舞台の『アラジン』。このプロダクションではその要素も取り入れられており、ライオンダンスやドラゴンダンスが登場します。アラジンとプリンセスの幸福感広がるパ・ド・ドウはもちろん、洞窟の場面での宝石たちの踊りや、ジーンとお付きたちのエネルギッシュな踊りなど、個性溢れる多彩な踊りが展開され、グランドバレエの醍醐味をご堪能いただけます。

本配信により、世界中の舞台芸術ファンの皆様に新国立劇場バレエ団の公演をお楽しみいただければ幸いです。

『アラジン』配信にあたってのメッセージ

舞踊芸術監督: 吉田 都



この度、新国立劇場バレエ団『アラジン』の公演映像を新国デジタルシアター、そしてOperaVisionで無料配信することが決定いたしました。これまで長らくバレエ団の映像配信を検討してまいりましたが、権利処理をはじめとする様々なハードルがあり、今回このように実現に至ったことを嬉しく思っております。公演をご鑑賞された方は勿論、劇場にいらっしゃるのが難しい方やバレエをご覧になったことがない方も気軽に触れていただく機会になれば幸いです。

『アラジン』は2008年にデヴィッド・ビントレー元芸術監督がこの新国立劇場バレエ団のために振り付けたオリジナルバレエで、新国立劇場バレエ団の良さも存分に感じていただける作品です。空飛ぶじゅうたんやランプの精の登場シーンなど夢いっぱいの演出がふんだんに盛り込まれ、初演以来様々な世代の方々に愛されてきました。ストーリーもわかりやすく、カール・デイヴィスの音楽も耳に残るメロディーで、お子様にも親しみやすいプロダクションです。

今回は通常の記録映像よりも客席内のカメラの台数を増やし、よりバレエの魅力を感じていただきやすいカメラアングルを目指しています。

配信ではダンサーたちの表情や、見応えのある衣裳や舞台美術もクローズアップして見ることができ、生の舞台とは違った楽しみがありますので、ぜひご自宅などでリラックスして、細部まで堪能していただけたらと思います。この配信をきっかけにより多くの方がバレエへ興味を持ってくださること、そして劇場に足を運んでくださることを願っています。

吉田 都



2024年6月公演より 撮影: 鹿摩隆司

ものがたり

にぎやかなアラビアの市場。この街に住む青年アラジンは、仕事もせずに毎日遊んでばかり。今日も騒ぎを起こして警備隊に捕まるが、魔術師マグリブ人が彼を助け出す。マグリブ人はアラジンに、砂漠の洞窟に入ってランプを取ってくるようもちかける。洞窟の財宝に目が眩んで了承したアラジンだったが、マグリブ人にランプを渡すのを拒んだため洞窟に閉じ込められてしまう。真っ暗闇の中でアラジンがランプをこすると、ランプから精霊ジーンが登場！ランプの持ち主の願いを叶える力を持つジーンによって、アラジンは洞窟から脱出する。

さらに、皇帝の娘であるプリンセスに恋したアラジンは、ジーンを呼び出し大富豪に変身。皇帝の許しを得て2人は盛大な結婚式を挙げる。晴れて夫婦となったアラジンとプリンセス。ある日、アラジンの外出中に物乞いがやってきて、プリンセスに古いランプを新品と交換しようと誘う。何も知らないプリンセスは、アラジンの古ぼけたランプを渡してしまう。しかし、この物乞いはマグリブ人の変装だった。マグリブ人はさっそくジーンを呼び出し、プリンセスをハーレムへさらってしまう。2人を追いかけて、ハーレムに忍び込んだアラジンはランプを奪還。プリンセスを救いだし、魔法の絨毯に乗って飛んで行くのだった。



2024年6月公演より 撮影：鹿摩隆司

スタッフ&キャスト プロフィール

【振付】 デヴィッド・ Bintley Sir David BINTLEY



英国ハダーズフィールド生まれ。英国ロイヤルバレエ学校で学ぶ。1983年から93年の間、サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエや英国ロイヤルバレエの振付家として活躍。93年にフリーランスになった時には、世界中の7カンパニーから新制作依頼が殺到した。その中にはミュンヘン・バレエの『コンプリート・コンソート』（94年）、シュツットガルト・バレエ団のために振付けた『エドワード2世』（95年）などがある。95年から2019年までバーミンガム・ロイヤルバレエ芸術監督を務める。その後も『アーサー王』『美女と野獣』『シラノ』などの新しい作品を創作している。『E=mc²』は2010年にサウス・バンク・ショー・アワードを受賞、またローレンス・オリヴィエ賞にもノミネートされた。10年から14年まで新国立劇場舞踊芸術監督を務め、新国立劇場バレエ団のために08年に『アラジン』、11年『パゴダの王子』を振り付け、好評を得た。19年大英帝国勲章（ナイト）を受勲。

【音楽】 カール・デイヴィス Carl DAVIS



1936年アメリカ・ニューヨーク生まれ。イギリスを拠点に活動。59年にステイブ・ヴィナヴァーとともに『ダイヴァージョンズ』を書きオビー賞（オフ・ブロードウェイ）を受賞をきっかけにラジオ、テレビ番組や映画音楽へ進出。主な映画音楽に『フランス軍中尉の女』『チャンピオンズ』『スキャンダル』、ケン・ラッセルの『虹』『ウィドーズ・ピーク』、マイク・リーの『トプシー・ターヴィ』『イヴの本』などがある。アベル・ガンスの叙詩映画『ナポレオン』で83年フランス文化省より芸術文化賞シュヴァリエ受章、2003年英国映画テレビ芸術アカデミー特別生涯業績賞、同年ポーランドのアレキノ映画祭で『五月の天使』が最優秀音楽賞。またロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団のサマーポップシーズンの芸術監督を8年間務めるなど指揮者としても活躍し、長年の音楽界への貢献により07年大英帝国勲章（CBE）受勲。23年8月3日死去。

【美術】 ディック・バード Dick BIRD



ディック・バードがこれまでに手がけたオペラのデザインは『中国のニクソン』『ガラントウリーズ』『ミカド』（スコティッシュ・オペラ）、『オテロ』（ウィーン国立歌劇場）、『ストリート・シーン』（テアトロ・レアル）、『アンナ・ボレーナ』『真珠採り』（メトロポリタン・オペラ、イングリッシュ・ナショナル・オペラ）、『湖上の美人』『花火師の娘』（英国ロイヤルオペラ）、『ベアトリスとベネディクト』（オペラ=コミック座）などがある。バレエでは『くるみ割り人形』『アラジン』（バーミンガム・ロイヤルバレエ）、『火の鳥』『ジゼル』（新国立劇場バレエ団）、『ドラゴン・クエスト』『くるみ割り人形』（スターダグサーズ・バレエ団）、『夏潮』（サラソタバレエ）、『ラ・バヤデル』（Kバレエカンパニー）、『カンタヴィルの亡霊』（イングリッシュ・ナショナル・バレエ）などを手掛けている。その他演劇では、『ハムレット』『ラ・グランド・マージ』（コメディ・フランセーズ）、『十二夜』『テンペスト』『あわれ彼女は娼婦』（ポーランド劇場）や、UKシアターアワードでベストデザイン賞を受賞した『ああ、荒野！』（ナフィールド・サウサンプトン劇場/リヴァプール・エブリマン劇場）をデザインしている。

【衣裳】 スー・ブレイン Sue BLANE



多岐にわたるジャンルで国際的に活躍しているデザイナー。ミュージカル『ロッキー・ホラー・ショー』とカルト・ムービー『ロッキー・ホラー・ショー』でのデザインで世界的に一躍有名になる。オペラと演劇の分野では、英国ナショナル・シアターの『ガイズ・アンド・ドールズ』、イングリッシュ・ナショナル・オペラの『ばらの騎士』、ジョナサン・ミラー 演出『ミカド』、グラインドボーン音楽祭のデイヴィッド・マクヴィカー演出『カルメン』、バイロイト音楽祭でキース・ウォーナー演出『ローエングリン』、ミラノ・スカラ座でブラシド・ドミンゴ出演『西部の娘』などがある。新国立劇場でも、オペラ『ルル』、演劇でジョン・ケアード演出『真夏の夜の夢』のデザインで好評を得ている。ロイヤルデザイナー・フォー・イングダストリー（英国王室芸術協会）の称号を持ち、これまでにローレンス・オリヴィエ賞に計5回、BAFTA（英国映画 TV アカデミー賞）とテレビ協会賞にもノミネートされている。2007年、演劇への貢献に対して名誉大英勲章（MBE）受勲。

【照明】 マーク・ジョナサン Mark JONATHAN



オペラ、バレエ、演劇、ミュージカルほか幅広い分野で活躍。1993年から2003年まで英国ナショナル・シアターの照明部門チーフを務める。主なオペラ作品にウッディ・アレン、ウィリアム・フリードキン演出によるプッチーニ『三部作』、デヴィッド・パウントニー演出『ルル』、アンニリース・ミスキン演出『ドン・キホーテ』、グラインドボーン音楽祭キース・ウォーナー演出『ヴァネッサ』、演劇・ミュージカルではナショナル・シアター『スカイライト』『ホンク!』、ジェイムズ・カー演出『縛られたプロメテウス』などの作品がある。バーミンガム・ロイヤルバレエでは数多くのデヴィッド・ヒントレー振付作品とアシュトン作品を手掛け、英国ロイヤルバレエでもアシュトン『シンデレラ』『シルヴィア』『ピーターラビット TM と仲間たち』の照明を担当。舞台や照明のデザインに関する執筆も数多く行っている。

【指揮】 ポール・マーフィー Paul MURPHY



バーミンガム・ロイヤルバレエとそのオーケストラ、ロイヤル・バレエ・シンフォニアの首席指揮者。劇場での公演に加え、コンサートや収録でも共に仕事をしている。1994年以来、ロイヤルオペラハウス管弦楽団と定期的に仕事をしている。その他、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ハレ管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、BBC ナショナル・ウェールズ管弦楽団、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、BBC コンサート・オーケストラ、オペラ・ノース管弦楽団、バーミンガム市交響楽団等、英国の優れたオーケストラを多数指揮している。海外では、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、ワシントン・ナショナル・オペラ管弦楽団、ソフィア・オペラ管弦楽団、シチリアのテアトロ・マッシモ管弦楽団等と仕事をしている。また、ニューヨーク・シティ・バレエ、バレエ・アム・ライン、ロイヤル・フランダース・バレエ、オランダ国立バレエ、最近ではオーストラリア・バレエのゲスト指揮者を務めている。CD のリリースではハレ管弦楽団（サン・サーンスのピアノと管弦楽曲全曲）、ロイヤル・バレエ・シンフォニア、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団との共演がある。97年、英国王立音楽院のアソシエイトに選ばれた。新国立劇場では、『アラジン』『カルミナ・ブラーナ』『火の鳥』『シンフォニー・イン・C』『ペンギン・カフェ』『パゴダの王子』『白鳥の湖』ほかを指揮している。

【アラジン】 福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>



大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12年よりプリンシパル。D.ヒントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤルバレエにゲスト主演した。17、19年ダンス公演中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞、23年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

【プリンセス】 小野絢子 ONO Ayako <プリンシパル>



東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほとんどの作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤルバレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。

【ランプの精ジーン】渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>



福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、F.アシュトン『夏の夜の夢』オーベロン、「Shakespeare THE SONNETS」などを踊り好評を博している。

【魔術師マグリブ人】中家正博 NAKAYA Masahiro <ファースト・ソリスト>



大阪府出身。法村友井バレエ学校、ワガノワバレエ学校を経て、2010年牧阿佐美バレエ団に入団。プティ『ノートルダム・ド・パリ』のフロロ役に抜擢され、『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『ジゼル』に主演。15年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、16年『ドン・キホーテ』で主役のバジルを踊った。またF.アシュトン『シンデレラ』王子、P.ダレル『ホフマン物語』リンドルフ、W.イーグリング『くるみ割り人形』ドロッセルマイヤー、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ティボルト、『マノン』ムッシューG.M.など様々な役を演じている。23年ファースト・ソリストに昇格。

配信概要

■配信内容

2023/2024 シーズン バレエ&ダンス

新国立劇場バレエ団『アラジン』

【無料配信】

収録日：2024年6月23日（日）

上演時間：約2時間

メイキング映像・撮り下ろしインタビューも特典映像として配信

■配信期間

2024年9月21日（土）午前2時（20日（金）深夜）～2025年3月20日（木・祝）午後8時
（ヨーロッパ標準時間 2024年9月20日（金）午後7時～2025年3月20日（木）正午）

■配信メディア

- ・OperaVision 公式サイト：<https://operavision.eu/performance/aladdin>
- ・新国デジタルシアター：<https://www.nntt.jac.go.jp/stream/>

■スタッフ&キャスト

芸術監督	吉田 都
振付	デヴィッド・ビントレー
音楽	カール・デイヴィス
美術	ディック・バード
衣裳	スー・ブレイン
照明	マーク・ジョナサン

■出演

アラジン	福岡雄大
プリンセス	小野絢子
魔術師マグリブ人	中家正博
ランプの精ジーン	渡邊峻郁
アラジンの母	中田実里
サルタン	中島駿野
アラジンの友人	木下嘉人、原 健太

砂漠の風	川口 藍、玉井るい、中島春菜、根岸祐衣、岸谷沙七優、関 晶帆、徳永比奈子、土方萌花
オニキスとパール	飯野萌子、五月女遥、広瀬 碧 小野寺雄、宇賀大将、佐野和輝
ゴールドとシルバー	渡辺与布、朝枝尚子 清水裕三郎、趙 載範
サファイア	池田理沙子
サファイアのお付き	川口 藍、赤井綾乃、加藤朋子、土方萌花
エメラルド	原田舞子、益田裕子、中島瑞生
ルビー	木村優里、井澤 駿
ダイヤモンド	奥田花純
プリンセスのお付き	川口 藍、原田舞子、益田裕子、加藤朋子、花形悠月、土方萌花

ほか 新国立劇場バレエ団

指揮	ポール・マーフィー
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団

OperaVisionとは？



世界各地の歌劇場や音楽フェスティバル団体が持つオペラの公演記録映像を無料で配信するプラットフォームです。欧州連合（EU）の文化支援プログラムである Creative Europe の支援のもと運営されており、現在新国立劇場を含む 17 か国 30 団体が参加しています。新国立劇場はアジア圏唯一の加盟団体です。

OperaVision 公式サイト <https://operavision.eu/>（英語・フランス語・ドイツ語）

新国デジタルシアターとは？



「新国デジタルシアター」は、時や場所を選ばずに新国立劇場の舞台芸術をお気軽にご鑑賞いただける映像配信プラットフォームです。

現在は 2022/2023 シーズンオペラ『リゴレット』を 8 月 22 日（木）12 時まで配信中です。また、7 月 19 日（金）からは、演劇公演 シリーズ「未来につなぐもの」：『私の一ヶ月』『夜明けの寄り鯨』『楽園』を 3 作品一挙無料公開いたします。

配信作品は、今後も随時ご案内してまいります。

新国デジタルシアターが、新国立劇場とより多くのお客様の出会いの場の一つになることを願っています。

新国デジタルシアター <https://www.nntt.jac.go.jp/stream/>

【報道関係の皆様からのお問い合わせ先】

広報室：高橋、小松、遠藤

TEL：03-5352-5781 / FAX：03-5352-5709 / E-mail: press@nntt.jac.go.jp

舞踊広報：清水

TEL：03-5352-5735 / FAX：03-5352-5709 / E-mail: shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp